

提案

日付：2023/05/01

件名：中学校の制服着用ルールについて

1. 問題、課題

新型コロナウイルス感染拡大時には衛生状態の観点から、ジャージでの登校など制服の着用に対して自由度があったが、社会的なリスクレベルの低下とともに、制服の常時着用と戻ったが、現在の制服は選択ができないことや、夏場の酷暑などの環境の変化に十分に対応した衣類ではないことから、生徒・保護者から問題があると声が上がっている。

一部生徒と教員で自ら運用ルールを決めて着用していたが学校で決めたルールではないと却下されたという話が出ている。主体性や自主性・多様性を育む教育とは程遠い対応であり町内の学校の教育行政における重要事項や基本方針を決定する機関である。教育委員会から指導をお願いしたい。

2. 改善案

町内各中学校の制服着用に対して、生徒保護者からアンケートをとり、各学校の生徒、教員、保護者（PTAでも可）の3者で現状に即したルールを決定し運用する。

教育委員会のサポートよろしくをお願いします。

3. 改善後の効果

生徒たちの学校におけるQOLを向上させかつ、教員・生徒・保護者の主体性、自主性、多様性を広げる活動となる。

回答

<中学校の制服着用ルールについて>

【所管：学校教育課】

教育委員会としましては、義務教育下におけるすべての児童・生徒が安全上、且つ心理的経済的に安心して学習できる環境を保障することが大事であると考えており

ます。現状において、制服について多様なニーズに対応できるよう進めていくことが必要と考えており、町内中学校においても、ジェンダー平等の観点からも固定化させるのではなく、スカートに加えてスラックスの着用といった標準服の組み合わせも選択でき得るよう進めているところです。

また、ご意見の中で「一部生徒と教員で自ら運用ルールを決めて着用していたが、学校で決めたルールではないと却下された」との表記がございましたが、自主的な行動ではありますが、一部の集団でのみルールを変更するのではなく、学校全体の問題として捉え、全体の合意のもと決定することが大切であるのではないかと考えております。例えば、生徒総会の議題として扱うことや、中学校によっては生徒会が主体となり目安箱等で生徒の意見を取り上げる方法もあるかと考えますので、生徒の主体的な行動として大事にしていきたいと感じるところでございます。

町教育委員会といたしましては、教育上、中学校での服装の在り方、子どもたちにとってどうあるべきかについて、関係者等の間で話し合いをしていく必要があると認識しております。今後の解決に向けて各中学校に対して指導・支援してまいりたいと考えておりますので、今後とも、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。